

案件化調査 ラオス国

固有植物の高付加価値化に向けた加工技術の普及に関する案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：ツジコー株式会社
- 提案企業所在地：滋賀県甲賀市
- サイト・C/P機関：ヴィエンチャン市、保健省傘下健康食品生産会社、保健省傘下伝統医療研究所



ラオス人民民主共和国の開発課題

- 健康食品原料向け固有植物の付加価値化のための生産技術が未成熟
 - ✓ 固有植物の乾燥・粉末化・殺菌技術がない
 - ✓ 固有植物の成分分析技術がない
 - ✓ 以上より製品の品質が低く、国際水準を満たしていないため、他国への輸出による外貨獲得の機会が得られていない

中小企業の技術・製品

- 高品質ホールフーズ生産技術
- 植物が本来持つ栄養成分を保持しながら生産
 - ✓ 低温乾燥技術・粉末化技術・非加熱殺菌技術
 - ✓ 成分分析技術、品質分析技術

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- ODA事業を通して、低温乾燥、粉末化、非加熱殺菌ならびに成分分析工程を中心に技術移転を図る
- 付加価値のある製品の生産が可能になる
 - ✓ 6次産業化に必要な加工プロセスに関わる技術が移転されることにより、付加価値のある製品の製造・輸出が可能となり、外貨獲得の機会が創出される
- 食品・医薬品・伝統医薬品の品質・安全性の向上に寄与する

日本の中小企業のビジネス展開

- 同国における健康食品原料の開発、製造及び輸出による販路拡大